

第1学年 学級活動（1）指導案

令和3年10月20日（水）第5校時

第1学年2組34名

指導者 会田 恵梨夏

「主体的に学びに向かう子供の育成」
～自分や友達のことを知り、わかり合える活動を通して～

1 議題

「学級集会で、クラスの全員が優しくなれる遊びの工夫について考えよう」

2 議題について

（1）子供の実態

本学級の子供は、始めは身の回りのことを行うのにも時間がかかったり、手助けが必要だったりしたが、だんだんと自分のことを自分で行えるようになってきている。友達の仕事が大変そうであると率先して手伝い、友達が泣いていたり、困っていたりすると、「どうしたの。」と自分から優しく声をかけて慰めるなど、他人のために動ける姿が見られるようになってきた。だんだんと自分のことだけでなく、友達に関心を向けられるようになり、友達の良いところを見付けられるようになってきた。友達から良いところを見付けてもらえると嬉しさを感じ、すすんで良いところを見付けようとする子供が増えてきている一方、まだ友達の良いところを見付けるのに時間がかかったり、表現するのが難しかったりする子供もいる。友達の良いところを見付け、表現できたら、大いに褒めて達成感をもたせ次に繋げているところである。

（2）話し合い活動（学級会）

本学級では、7月に初めて子供主体で学級会を開き、「1学期頑張ったね会」の学級集会でやる遊びを子供たちで考えた。事前に昨年度の1年生の学級会の様子をビデオ撮影をしたものを観て、学級会のイメージを共有してから臨んだものの、挙手をして指名されると、意見を言えなくなってやめてしまうことがあったり、恥ずかしさから声が小さくて聞こえなかったりすることがあった。教員や友達がフォローすることで、最終的には全員が皆の前で発表することができた。学級全体の前で発表できたという経験をする中で、段々と自信をもって発表できるようになって欲しいと願っている。

学級会を経験したことで、2回目以降の学級会では、ほとんどの子供が司会グループをやりたいと立候補し、学級会への意欲が高まってきた。しかし、議題を意識した自分の意見をもつことが難しい子供もいる。常に全員で議題を意識できるようにし、議題に適しているか判断できるよう助言をしている。

発表を自分からできるようになった子供は最初に比べて多くなったが、発表できたという安心感から、友達の発表を聞くのが疎かになってしまったり、学級会後半になると集中力がきれてしまったりすることがある。友達が発表している時は、その人のほうを向くことや、終わったら拍手をするということを意識することで友達の話に関心をもち、最後まで学級会に集中して取り組めるように指導をしている。

今回は、「学びガイド」からあらかじめ自分自身のめあてを選択し、めあてを意識して発表したり、友達の発表を聞いたりすることで、以前よりも学級会の話し合いができるようになったことを実感し、達成感につなげていきたいと考える。また、自分たちで話し合っ決めてられたという経験を多くさせることで、自分たちで主体的に行動できる力を育てていく。

なお、これまでの学級会での議題と決まったことは次の通りである。

学級会 の 回数	月日	議題	活動内容、決まったこと
1 ・ 2	6月1日 ・ 6月8日	学級目標を決めよう。 【教師主導】	一人ずつ、「どんなクラスにしたいか」をあらかじめ考えて、発表した。 考えを黒板に書き出し、同じような意見をまとめた。 意見を組み合わせた目標を何人かが考え、その中でいつでも覚えておける学級目標をみんなで選んだ。 学級目標 「みんななかよく、げんきな やさしいクラス」
3 ・ 4	7月15日 ・ 7月16日	「1学期頑張ったね会」の遊びを決めよう。 (学級目標の「みんな なかよく げんきな やさしい クラス」を達成できるようにする。)【子供主導】	一人ずつやりたい遊びをカードに書いて、発表した。 たくさんの意見の中から、クラス目標が達成できるという理由が一番多かった、「いすとりゲーム」を行うことに決まった。 他の意見は、「未来の種ボックス」に送り、次の遊びの時などにしようという意見でまとまった。
5	7月19日	第1回学級集会 いすとりゲーム	
6	9月10日	「2学期頑張ろうね会」の遊びを決めよう。 (学級目標の「みんな なかよく げんきな やさしい クラス」を達成できるようにする。)【子供主導】	2学期が始まってから、初めて学級全員がそろった日に、子供たちから学級全員でゲームがしたいという提案があり、学級集会を開くことになった。 前回の学級会の「未来の種ボックス」の意見を参考にしながら、各自がやりたい遊びをカードに書き発表した。 たくさんの意見の中から、クラス目標が達成できるという理由が一番多かった、「宝探しゲーム」を行うことに決まった。 他の意見は、「未来の種ボックス」に送り、次の遊びの時などにしようという意見でまとまった。

7	9月29日 10月5日	「2学期頑張ろうね会」で行う宝探しゲームの工夫を決めよう。 (学級目標の「みんな なかよく げんきな やさしい クラス」を達成できるようにする。) 【子供主導】	ゲームの工夫を一人ずつカードに書き発表した。出てきた工夫を分類し、①どんな宝にするか。②宝をいくつ探すか。について、話し合った。 ① いくつかの意見の中から、賛成の理由が一番多かった、自分たちで折った折り紙に決まった。違う意見だった子供も、意見が変わったと話し、全員が合意する結果となった。 ② 「一人一個ずつ」、「複数個」探すの二択で話し合った。「一人一個は、宝をもらえないと悲しい」ということは、全員の共通認識であったので、子供たちの中から、「一人一個を見付けて終わってから、二つ目以降を見付ける」という意見が出た。どちらものよさを取り入れ課題を解決した意見に、子供たちは、感嘆の声をあげると共に、この意見を受け入れた。
8	10月8日	第2回学級集会 宝探しゲーム	

(3) 議題選定の理由

2学期から、「すてき はっけん」という、学級の友達のすてきなところを見付ける活動に取り組んでいる。友達のすてきなところを見つけたら、花びら型のカードに書き、友達に渡している。全員の花が満開になったら、何か楽しいことをしようと提案すると、学級集会を開きたいということになった。前回の学級集会では、遊びのルールを工夫することで、皆が楽しめるものになるという経験ができた。その経験を生かし、学級目標を意識した学級集会になるよう繰り返し指導し見守っていきたい。

3 第1学年及び第2学年の評価規準

集団活動や生活への関心意欲態度	集団の一員としての思考判断実践	集団活動や生活についての知識理解
学校生活に関心を持ち、話合いの準備に進んで取り組もうとしている。	議題について自分の考えを持ち、話合いの順序など簡単な計画について考え、準備している。	話合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。

4 研究主題に迫るための手立て・工夫

【低学年ブロックで研究主題に迫るために、身に付けたい力】（本授業で重視した力を下線とした。）

人間関係形成・ 社会形成能力 (つながる力)	自己理解・ 自己管理能力 (自分と向き合う力)	課題対応能力 (先を見通す力)	キャリアプランニング 能力 (自分をつくる力)
① <u>自分の意見を友達に伝えることができる子供。</u> ② <u>友達のよいところを見付け、仲良く、助け合う子供。</u>	① 自分のよいところを見付けることができる子供。 ② 不得意なことや苦手なことでもすすんで取り組もうとする子供。	① 自分のことは自分で行う子供。 ② 分からないことを、質問したり、苦手なことを練習したりする子供。	① 将来の夢や希望をもつことができる子供。 ② 好きなことを見付け、楽しんで取り組むことができる子供。

(1)学級会の基本的な進め方についての繰り返しの指導

①議題の共有化

授業前の学級会コーナーに事前に議題や話し合うことを提示している。

②司会の輪番制

子供全員が経験できるように、輪番制にしている。

③司会グループへの事前指導

事前に台本を音読の宿題とし、本番ですらすら読めるようにしている。

④学級会ノートの活用

まだ文字をたくさん書くことは難しいので、簡易的な記録を書くようにしている。

⑤振り返りの場の設定、ルーブリックの活用

学級会ノートでの振り返り（マーク式の自己評価、自分が頑張ったところや友達のよかったところを書く。）と同時に、小山小 学びガイド（ルーブリック）を活用し、自分の成長を客観的に振り返られるようにする。

⑥適切な終末の助言

ねらいについての評価、司会グループへの賞賛、本時でよかった具体的な子供の賞賛、実践への意欲付けを行う。

⑦進行表の使用

進行表を使用し、どの子供にも今何をやっているか分かりやすいようにする。

⑧意見が言えない子供への支援

なかなか意見を発表するのが難しい子供には、教師や友達が寄り添って一緒に言うようにしている。

資料1 小山小 学びガイド 学級会 (ルーブリック)

	☆☆	☆
話し合い中	○友達の意見を聞いた上で、自分の考えを理由と共に言える。	○手を挙げて、意見を言う。
友達との関わり	○友達の良いところを見付けられる。 (話し方、聞き方、意見の内容 等)	○友達の意見を聞く。頷く。

(2) 達成感を味わうための工夫

自分の意見を言えたという経験をするために、まずはカードに自分の意見を記入する段階で全員が書いていることを確認し、自信をもって発言できるようにしている。また、学級集会の振り返りを行うことで、めあてが達成できたか確認し、学級全体としての達成感を味わうことで、話し合い活動を行うよさを感じられるようにする。

(3) 一人一人の意見を大事にする工夫

「未来の種ボックス」を設置することにより、選ばれなかった意見は、次回以降に生かせるようにしている。

(4) 日常や他教科での取り組み

○朝のスピーチ活動

朝の会で、テーマを設定し日直のスピーチを行っている。日直は、声の物差しを使って皆に聞こえる3の声で言うことを意識し、聞いている子供は、姿勢よく、途中で話を遮ることなく最後まで聞くことを意識している。スピーチを聞き終わった後に、質問の時間を設け、その質問に対して答えるやりとりをしている。

○「すてき はっけん」

友達の日常のすてきなところを見付けている。友達のすてきなところを見付けたら、花びら型のカードに書き、友達にあげることになっている。全員の花が満開になったら、何か楽しいことをしようと提案することで、学級集会を開くことのきっかけづくりをしている。

○道徳の授業や他教科との関連

「7つの習慣」を折に触れて話し、指導するように心がけている。道徳の教科書の「7つの習慣」の内容を取り入れながら、日常生活と関連させて指導している。

○行事との関連

行事の前には、事前に十分な指導や目標設定を行う。終わった後には、振り返りを行い、次の取り組みに繋げることができるようにしている。

5 事前の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す子供の姿と評価方法 ☆キャリア教育で身に付けたい能力
10月15日 (金)	議題を選定する。 司会グループの役割 分担をする。 全員が自分の考えを ワークシートに書 く。	学級目標を意識して 決める。皆が楽しめる ルールを考える。 子供たちの意見を短 冊に書いてまとめる。	【知識・技能】 話し合い活動の準備の仕方や基本的な 進め方を理解している。 【思考判断実践】 議題について自分の考えをもち、話 合いの順序など簡単な計画について 考え、準備している。
10月18日 (月)	活動計画を立てる。 話し合いの想定をす る。	本番の話し合いの流れ を想定し、意見が出な かったときや、決める のが難しかった時の 進め方を考え、どうす るかを相談する。	【思考判断実践】 議題について自分の考えをもち、話 合いの順序など簡単な計画について 考え、準備している。
10月20日 (水)	今日の流れを確認す る。	本番の想定ができる ようにする。	

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

学級目標を意識して、学級集会で皆が優しくなれる遊びを決めよう。

(2) 教師の指導計画

児童の活動	指導上の留意点 ☆キャリア教育の視点	★目指す子供の姿と評価方法 ☆キャリア教育で身に付ける力
1 初めの言葉 2 司会グループの紹介 3 議題の確認 4 話合いの目当ての確認 5 決まっていることの確認 6 話合うことの確認 7 話合い 「学級目標に沿って、皆が優しくなれる〇〇〇〇の工夫を決めよう」 比べる 分かり合う まとまる 8 決まったことの確認 9 振り返り 10 先生の話 11 終わりの言葉	○一人一回発表する。 ○友達意見を最後まで聞く。 日時 10月27日(水) 3時間目 場所 体育館 ○話合いの記録を取り、活動を見守る。 ※以下のときは指導する。 ・生活指導上、人権上、配慮が必要な時 ・自治的範囲を超えた時 ・ねらいから大きく離れた時 ・話合いが混乱した時 ・規律が乱れた時 ・発言者が聞き手を意識できていない時 ○司会グループが話合いを進めるのに困っているときには、全体に声を掛け、意見を引き出す。 ☆出てきた考えをまとめ、全員が分かるように助言する。 ○自己評価をマークで記入する。 ○司会グループへの賞賛、ねらいについて、本時で良かった具体的な姿について評価する。 ○実践への意欲付けをする。	【主体的な態度】 ★司会グループの自分の仕事や話合いに積極的に取り組んでいる。(観察) 【思考・判断・表現】 ★提案理由に沿った発言をすることができる。(観察) ☆人間関係形成・社会形成能力ー① 【知識・理解】 ★話合いの流れを理解し、話合いに参加している。(観察) 【思考判断実践】 ★議題について自分の考えをもち、話合いの順序など簡単な計画について考え、準備している。(観察) ☆課題対応能力 ★ <u>自分の意見を友達に伝えることができる。</u> (観察) ★ <u>友達の話を聞き、良いところを見付け、仲良く、助け合う。</u> (観察) ☆人間関係形成・社会形成能力ー①、② ★自分の成長を理解している。(ワークシート) ☆自己理解、自己管理能力ー① ★友達のよさを見付けている。(観察・ワークシート) ☆人間関係形成・社会形成能力ー②

7 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点
10月21日(木)	役割分担を決める。(司会、始めと終わりの言葉、ルール説明と準備など)	・イメージしやすいように、進行表を用いて話を進めていく。
10月22日(金)～26日(火)	教師と一緒に、係ごとに準備を進める。	・各係のすることが分かるように書き出し、チェックしながら準備を進める。
10月27日(水)	学級集会の実施と実施後の振り返りをする。	・実施前に学級目標の確認をして、子供が意識して活動できるようにする。 ・実施後に、学級目標に沿って皆が優しくなれたか振り返るように声を掛ける。

8 板書計画

<p>※子供たちからでた意見を短冊で提示する。</p> <p>はなしあうこと</p>	<p>だい6かい 学きゆうかい</p> <p>ぎだい</p> <p>「すてき はっけん まんかいになったよかい」でクラスみんなが、やさしくなれる「○○○○」のきまりをきめよう。</p> <p>めあて</p> <p>① ぜんいんはつびようしましょう。</p> <p>② ともだちのいけんを さいごまで ききましよう。</p> <p>きまつていること</p> <p>「すてき はっけん まんかいになったよかい」では、「○○○○」をします。</p> <p>へじかん</p> <p>10がつ27にち(すい) 3じかんめ</p>
--	---

<低学年分科会> 授業を見ていただく視点

- ① 1年生として、「比べる」に重きを置いたことが有効だったか。(難し過ぎなかったか。)
- ② 学級全体として、一人一人が学級会に参加し、楽しいと感じられていたか。
- ③ 「学びガイド」が1年生にも有効だったか。